

安全データシート

作成: 2014年10月30日

改訂: 2023年 6月 9日

1. 製品及び会社情報

整理番号	: KI083-03
製品名	: ペリマークSC
会社名	: クミアイ化学工業株式会社
住所	: 東京都台東区池之端 1-4-26
担当部門	: サステナビリティ推進部 レスポンシブル・ケア推進課
電話番号	: 03-3822-5180
FAX番号	: 03-3823-6830
緊急連絡先	: 平日 午前9時～午後5時 (電話番号03-3822-5180)
推奨用途及び使用上の制限	: 農薬

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

環境に対する有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	: 区分1
	水生環境有害性 長期 (慢性)	: 区分1

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語: 警告

危険有害性情報

- ・水生生物に非常に強い毒性
- ・長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【安全対策】

・環境への放出を避けること。

【応急処置】

・漏出物を回収すること。

【保管】

・施錠して保管すること。

【廃棄】

・内容物、容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名／一般名：

3-ブロモ-1-(3-クロロ-2-ピリジル)-N-[4-シアノ-2-メチル-6-(メチルカルバモイル)フェニル]-1H-ピラゾール-5-カルボキサミド

／一般名：シアントラニプロール

成分及び含有量：シアントラニプロール 18.7%

<その他> その他の成分

官報公示整理番号：安衛法 8-(1)-3850 シアントラニプロール

CAS No.: 736994-63-1 / シアントラニプロール

4. 応急措置

一般的アドバイス：

危険域から避難させる。

この安全データシートを担当医に見せる。

被災者を一人にしない。

吸入した場合：

意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。

症状が持続する場合は、医師に連絡する。

皮膚に付着した場合：

石けんと水で洗い流す。

刺激があり継続する場合には医療機関で診察を受ける。

眼に入った場合：

予防措置として、水で眼を洗浄する。

コンタクトレンズをはずす。

損傷していない眼を保護する。

洗浄中は眼を大きく開ける。

眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。

飲み込んだ場合：

気道を確保する。

牛乳やアルコール飲料を与えない。

意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。

症状が持続する場合は、医師に連絡する。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状：

知見なし。

応急措置をする者の保護：

吸入、摂取および皮膚と眼への接触を避ける。

医師に対する特別な注意事項：

症状に応じた治療を行う。

5. 火災時の措置

適切な消火剤：

二酸化炭素(CO₂)

泡消火剤

粉末消火剤

水噴霧

使ってはならない消火剤：

棒状注水を避ける

特有の危険有害性：

火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。

有害燃焼副産物：

臭素化合物

窒素酸化物(NO_x)

炭素酸化物

塩素化合物

塩化水素

シアン化水素

特有の消火方法：

安全であれば未損傷コンテナを火災領域から離す。

密閉容器を水スプレーで完全に冷却する。

現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
汚染した消火廃水は回収すること。排水施設に流してはならない。
火災の残留物や汚染した消火廃水は、関係法規に従って処理する。

消火を行う者の保護:

消防士は保護服と自給式呼吸器を着用する必要があります。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:

安全な場所に避難する。
保護具を使用する。
安全に実行できる場合は、漏れを停止します。
こぼれたものに触れたり、歩いたりしないでください。

環境に対する注意事項:

安全を確認してから、もれやこぼれを止める。
製品を排水施設に流してはならない。
製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材:

回収したものの使用を避けるために、製品の容器に戻してはならない。
適切な吸収材にできるだけ吸収させて回収する。
取り出して、正確なラベルのついた容器に移す。
廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

火災及び爆発の予防:

標準的な防火方法。

安全取扱注意事項:

個人保護については項目 8 を参照する。
吸入性粉じんが発生しないように留意する。
洗浄水は、国及び地方自治体の規制に従い処分する。
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。

接触回避:

強酸、強塩基、および酸化剤を避けてください。

衛生対策:

皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。
エアゾルを吸い込まない。

- 使用中は飲食しないこと。
- 使用中は禁煙。
- 休憩前や終業時には手を洗う。

保管

安全な保管条件:

- 容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。
- 一度開けた容器は注意深く再度密封し、漏れを避けるためまっすぐ立てておく。
- 電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。

保管安定性に関する詳しい情報:

- 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度:

- 許容濃度が設定されている物質を含有していない。

保護具

呼吸用保護具:

- 粉じんおよびエアゾール形成の場合は、適合したフィルターの付いた呼吸措置を使用する。
(例: JIS T8151 に適合する防じんマスク等)

手の保護具:

- 材質: 保護手袋
- 備考: 製造メーカーと相談の上、作業場所に相応しい防護手袋を着用すること。

眼の保護具:

- 純水入りの眼洗浄ボトル
- 密着性の高い安全ゴーグル

皮膚及び身体の保護具:

- 不浸透性衣服
- 作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、保護具を選択する。

保護対策:

- この製品を使用する前に、応急措置方法を検討しておく。

9. 物理的及び化学的性質

外観等	: 類白色水和性粘稠混濁液体
臭い	: 無臭
pH	: 6 - 8
	含有量: 10 grm/l
融点/凝固点	: データなし

沸点又は初留点及び沸騰範囲	: 98°C
引火点	: > 98°C
	方法:密閉式引火点試験
	沸点までは引火しない。
自己発火性	: > 800°C
	自然発火温度
分解温度	:データなし
蒸発速度	:データなし
かさ密度	: 1.0 - 1.2 gPcm ³
自然発火温度	:データなし
可燃性	:データなし
爆発下限及び爆発限界上限界／可燃範囲	:データなし
粘度	
粘度(粘性率)	: 474 mPa.s
	50 rpm(回転毎分)
	799 mPa.s
	25 rpm(回転毎分)
	286 mPa.s
	100 rpm(回転毎分)
動粘度(動粘性率)	:データなし
溶解度	
水溶性	:可溶
n-オクタノール／水分配係数(log 値)	:データなし
蒸気圧	:データなし
密度及び／又は相対密度	
比重	: 1.072
	データなし
密度	:データなし
相対ガス密度	:データなし
爆発特性	:非爆発性
酸化特性	:非酸化性

10. 安定性及び反応性

反応性	: 指示通りに保管または使用した場合は、分解する
-----	--------------------------

化学的安定性	ことはない。 : 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。
危険有害反応可能性	: 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。
避けるべき条件	: 極端な温度は避けてください。 エアゾールの発生を避けること。
混触危険物質	: 強酸、強塩基、および酸化剤を避けてください。
危険有害な分解生成物	: データなし

11. 有害性情報

急性毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

製品:

急性毒性(経口) : ラット LD₅₀ > 5,000 mg/kg
アセスメント: この物質または混合物は急性の経口毒性は無い。

急性毒性(吸入) : ラット LC₅₀ > 3.7 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: ダスト/ミスト
方法: OECD 試験ガイドライン 403
GLP: 適合
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。

備考: (製品自体のデータ)

急性毒性(経皮) : ラット LD₅₀ > 5,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 402
GLP: 適合
アセスメント: この物質または混合物は急性の皮膚毒性は無い。

成分: シアントラニリプロール

急性毒性(経口) : ラット LD₅₀ > 5,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 425

急性毒性(吸入) : ラット LC₅₀ > 5.2 mg/l

曝露時間: 4 h

試験環境: ダスト/ミスト

方法: OECD 試験ガイドライン 403

アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。

急性毒性(経皮)

: ラット LD₅₀ > 5,000 mg/kg

方法: OECD 試験ガイドライン 402

皮膚腐食性/刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

製品:

種 : ウサギ

曝露時間 : 72 h

方法 : OECD 試験ガイドライン 404

結果 : 皮膚刺激なし

GLP : 適合

備考 : (製品自体のデータ)

情報源: 内部試験報告書

成分: シアントラニリプロール

種 : ウサギ

方法 : OECD 試験ガイドライン 404

結果 : 皮膚刺激なし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

製品:

種 : ウサギ

結果 : 眼への刺激なし

曝露時間 : 72 h

方法 : OECD 試験ガイドライン 405

GLP : 適合

備考 : (製品自体のデータ)

情報源: 内部試験報告書

成分: シアントラニリプロール

種 :ウサギ
結果 :眼への刺激なし
方法 :OECD 試験ガイドライン 405

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

呼吸器感作性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:シアントラニリプロール

方法 :OECD 試験ガイドライン 429

結果 :皮膚感作性なし

生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:シアントラニリプロール

アセスメント :バクテリアまたは哺乳類培養細胞を用いた試験において遺伝子の突然変異作用は発現しなかった。

発がん性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:シアントラニリプロール

アセスメント :証拠の重要性からすると、発がん性物質として分類されない。

生殖毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:シアントラニリプロール

アセスメント :証拠の重要性からすると、生殖毒性物質として分類されない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:シアントラニリプロール

アセスメント :この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(単回ばく

露)としては未分類。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:シアントラニリプロール

アセスメント : この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(反復ばく露)としては未分類。

反復投与毒性

成分:シアントラニリプロール

種 : ラット
NOAEL : > 1,000 mg/kg
投与経路 : 経口
曝露時間 : 28 d
方法 : OECD 試験ガイドライン 407
症状 : 肝臓重量の増加
備考 : 入手可能なデータに基づくと、分類基準は満たされていません。

誤えん有害性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:シアントラニリプロール

当該物質には、吸引性呼吸器有害性の可能性に関連する特性はない。

詳細情報

製品:

備考 : データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

製品:

ミジンコ等の水生無脊椎 : オオミジンコ EC₅₀ 0.0724 mg/l

動物に対する毒性 曝露時間: 48 h

成分:シアントラニリプロール

魚毒性 : ニジマス LC₅₀ > 12.6 mg/l

	曝露時間: 96 h
	アメリカナマズ LC ₅₀ > 10 mg/l
	曝露時間: 96 h
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性	:オオミジンコ EC ₅₀ 0.0204 mg/l
	曝露時間: 48 h
藻類／水生生物に対する毒性	:緑藻 ErC ₅₀ > 13 mg/l
	曝露時間: 72 h
	緑藻 EbC ₅₀ > 13 mg/l
	曝露時間: 72 h
	イボウキクサ ErC ₅₀ 0.278 mg/l
	曝露時間: 7 d
	イボウキクサ EyC ₅₀ 0.060 mg/l
	曝露時間: 7 d
M-ファクター(水生環境有害性 短期 (急性))	: 10
魚毒性(慢性毒性)	:シープスヘッドミノー 最大無影響濃度 2.9 mg/l
	曝露時間: 28 d
	ニジマス 最大無影響濃度 0.11 mg/l
	曝露時間: 21 d
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性(慢性毒性)	:オオミジンコ 最大無影響濃度 0.00656 mg/l
	曝露時間: 21 d
	オオミジンコ 最大無影響濃度 0.00969 mg/l
	曝露時間: 21 d
	オオミジンコ 最大無影響濃度 0.00447 mg/l

曝露時間: 21 d

M-ファクター(水生環境
有害性 長期 (慢性)) : 10

土中生物に対する毒性 : ミミズ $LC_{50} > 1,000$ mg/kg
曝露時間: 14 d

地上生物に対する毒性 : ミツバチ $LD_{50} > 0.0934$ µg/bee
曝露時間: 48 h
エンドポイント: 急性毒性(接触)

ミツバチ $LD_{50} > 0.1055$ µg/bee
曝露時間: 48 h
エンドポイント: 急性毒性(経口)

コリンウズラ LD_{50} 2,250 mg/kg

残留性・分解性

成分: シアントラニリプロール

生分解性 : 備考: 易分解性ではない。

生体蓄積性

製品:

生体蓄積性 : 備考: データなし

成分: シアントラニリプロール

生体蓄積性 : 種: ブルーギル
生物濃縮因子(BCF): < 1
備考: 生物蓄積の可能性は低い。

生物濃縮因子(BCF): 15

n-オクタノール/水分配
係数(log 値) : log Pow: 1.97 (22°C)
pH: 4

log Pow: 2.07 (22°C)

pH: 7

log Pow: 1.74 (22°C)

pH: 9

土壤中の移動性

成分:シアントラニリプロール

環境中の分布 :Koc: 241 ml/g, log Koc: 2.38

備考:土壤中で移動する

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

製品:

生態系に関する追加情報 :環境の予防措置に関する、取り扱いの追加説明は製品ラベルを参照する。

職業上の規則に反した取り扱い、処理が行われた場合は、環境に及ぼす危険性を除外して考えることはできない。

長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

13. 廃棄上の注意

使用量に合わせて薬液を調製し、使い切る。容器の洗浄水等は河川に流さない。

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後処分する。

14. 輸送上の注意

移送取扱いは丁寧に行う。

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。車輛、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

国連分類 :クラス9(有害性物質)容器等級Ⅲ

国連番号 :3082(環境有害物質、液体)

国内規制

- 海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報 : 航空法の規定に従う。
陸上規制情報 : 消防法、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法に該当する場合はそれぞれの該当法律に従う。

15. 適用法令

- 農薬取締法 : 登録番号 第24090号 (エフエムシー・ケミカルズ(株))
消防法 : 非危険物
労働安全衛生法 : 非該当
化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)
: 第二種指定化学物質 810 シアントラニリプロール
毒物劇物取締法 : 非該当
船舶安全法 : 危機則第 2, 3 条危険物告示別表第 1: 有害性物質
航空法 : 施行規則第 194 条危険物告示別表第 1: その他の有害物
海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律
: ばら積み輸送: 有害液体物質には該当しない
: 個品輸送: 海洋汚染物質
水質汚染防止法 : 有害物質(法第 2 条、施行令第 2 条、排出基準を定める省令第 1 条)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律
: 産業廃棄物

16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意してください。
使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

- 引用文献: 1) JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学品の分類方法
2) GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針
2019年6月 社団法人 日本化学工業協会
3) 農薬中毒の症状と治療法 第19版 2022年4月 農薬工業会
4) GHS文書 改訂第6版(2015年)
5) エフエムシー・ケミカルズ(株) ベリマークSC 安全データシート
(2022年12月27日改訂版)

作成部署以外の連絡先

(財団法人)日本中毒情報センター

大 阪 (年中無休、24時間) 一般市民向け相談電話(無料) 072-727-2499

医療機関専用有料電話 072-726-9923

つくば(毎日9時～21時) 一般市民向け相談電話(無料) 029-852-9999

医療機関専用有料電話 029-851-9999

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。

※ 弊社製品に関する問い合わせにつきましては、医療機関専用有料電話の利用料(1件 2,000円)は弊社が負担いたします。